

肥料の与え方

1 肥料の与え方

草花、鉢花、野菜などの植えつけ、植え替えに、元肥は不可欠ですが、生育が旺盛になってくると、元肥として与えた肥料だけでは不足してきます。そこで、この不足する栄養を補うのが追肥です。追肥には、液肥「ハイポネックスNEWレイシオ原液」または「薄めて使う液体肥料」が適しています。つまり、元肥と追肥は、理想的な肥料の与え方なのです。

2 元肥とは…

草花、野菜苗の植えつけ、鉢花、観葉植物などの植え替え時に土に混ぜ込む肥料です。植物が生育するうえで、肥料切れを防ぎ、生育を途切れさせないために、大切な働きをします。元肥には、マグアンプK（中粒） 1.3kgまたは「花咲く化成肥料」が適しています。

■寒肥

元肥の一種で、庭植え樹木、花木などに1年に1回、根の生育が停止している冬（12～3月）に樹木の枝下の真下土中に与える肥料です。腐葉土や堆肥などと一緒に「醗酵油かす」や「マグアンプK（大粒）」を与えます。

3 追肥とは…

植物の生育の途中で与える肥料です。生育の旺盛な植物や、次々と花を咲かせる植物に必要です。追肥には、液肥と置肥があります。

(1) 液肥

水に薄めて与える肥料で、すぐに効果が現れます。

液肥には「ハイポネックスNEWレイシオ原液」、または「薄めて使う液体肥料」があります。

(2) 置肥

鉢土の上に置くだけの肥料です。

与えた後は水やりや微生物の働きでゆっくりと溶け、その効果は約2ヶ月間持続します。

粒剤タイプは「ハッピーハウス」、錠剤タイプには錠剤肥料「プロミック草花鉢花用」があり、さらにばらまくだけの粒状タイプとして効果が約1～3ヶ月間持続する「植物のサプリ花やグリーンに」があります。

